



セゾン投信

## 12 月度の市場動向について

### 長期投資家の皆さまへ

長期投資家の皆さま、あけましておめでとうございます。2020 年の金融市場は新型コロナウイルスで激動の 1 年でした。春先にリーマンショック時を超える短期間で株価急落が世界中の市場を震撼させましたが、その後は主要国の大胆な金融緩和敢行が債券市場で低位に金利水準を押し下げ、財政資金の果敢な投入が景気持ち直し期待を高めて、年を終えてみれば世界的な株高の 1 年となったわけです。殊に年の瀬に近付いてからは、ワクチン開発進展の期待が高まって、米ダウ平均株価が史上最高値を更新するなど、米国のみならず欧日先進国も上昇基調を加速させることになり、主要国の長期金利低位安定下で緩和マネーは自ずと株式市場に流れる特異な金融環境もマーケットの株買い安心感を高めているようです。

新型コロナの収束は未だ世界中で目途が立たない現状ですが、コロナ後も経済下支えのため金融緩和状況は長期化するとの見通しもあって、アフターコロナの景気急回復期待を世界の株式市場は過剰に織り込んだ状態とも言えるほど、今ある実態経済とマーケットは時間軸による乖離が甚だしくなっています。一方で、コロナ禍によって急速に進化したネット・デジタル系事業が提供する製品やサービスは生活様式と社会通念を抜本的に転換させる起爆剤となって、コロナ後も更なる進化が想定されることから、特に IT 系産業で高付加価値を実際に先導して生み出している米国経済の本源的強さと、たとえば残念ながらデジタル化の遅れが顕在化している日本経済の脆弱性とで産業界の明暗が分かれる中、株式市場が世界全体に楽観的上昇を続ける流れは、やがてマーケットの自律調整機能が本源的優劣を峻別する局面が訪れた時、市場全体の過熱感とともに修正されて行くことになるでしょう。

ところがそうした市場の大きな潮目の変化がいつ訪れるのかは予測困難であり、2021 年もいちはば大切なことは、短期的値動きに翻弄されず投資を継続させて行くことで、長期的な経済成長軌道にトレースし続けることなのです。「セゾン号」は相変わらず地球経済のメガトレンドを見据えて、泰然自若とすすんでまいります。本年も長期投資の旅をどうぞよろしくお願いたします。

代表取締役会長 CEO 中野 晴啓

### 今月の市場動向

#### 世界の株式市場についての概況

世界の株式市場は、上昇しました。

序盤、米下院が同国の監査基準を順守しない中国企業の米国市場上場を廃止できる法案を可決したことを受けて、米国と中国の関係悪化に対する懸念が高まったものの、新型コロナウイルスのワクチン実用化への期待を背景に経済活動の正常化に対する期待が高まり上昇しました。

中盤にかけて、新型コロナウイルスの感染拡大に対する懸念がマイナス要因となったものの、同時に新型コロナウイルスのワクチンに対する期待の継続などがプラス要因となり、ほぼ横ばいとなりました。

中盤、ユーロ圏の購買担当者景気指数 (PMI) が市場予想を上回ったほか、中国人民銀行 (中央銀行) が 1 年物中期貸出制度 (MLF) を通じて過去最大となる 9500 億元を供給したと発表したことを受けて上昇しました。

終盤にかけて、英国を中心に感染力が強いとされる新型コロナウイルス変異種の感染拡大に対する懸念が高まって下落する局面はあったものの、米国で追加経済対策・歳出法案が議会を通過したほか、英国と欧州連合 (EU) が通商交渉で合意に達したことを受けて下落幅を縮小しました。

終盤、米当局が EU の一部製品の関税を引き上げると表明したものの、米国で追加経済対策・歳出法案が成立したほか、EU と中国が EU 企業の中国市場への参入制限の緩和を含む投資協定で合意したことなどを受けて、景気回復への期待が高まり上昇しました。

#### 12 月度の商品価格の動向

	終値	騰落率
NY 原油先物 (WTI/直近限月) /1 バレル	48.52	+7.01%
NY 金先物 (中心限月) /1 トロイオンス	1895.1	+6.41%

新型コロナウイルスの感染拡大が継続するなか、欧州で感染力が強いとみられる変異種が出現した一方、米国や英国でワクチンの接種が開始されたことにより、経済活動の正常化に対する期待と活動制限の長期化への不安が交錯しています。

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書 (交付目論見書) の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。



セゾン投信

## 12 月度の市場動向について

### 米国株式

米国の株式市場は、上昇しました。

序盤、新型コロナウイルスのワクチン実用化への期待を背景に経済活動の正常化に対する期待が高まったほか、追加経済対策協議に進展の兆しが見られたことを受けて上昇しました。

中盤にかけて、新型コロナウイルスの感染が一段と広がったことを受けて、さらなる行動制限措置が導入されるとの警戒が強まったほか、追加経済対策協議が難航したことを受けて下落しました。

中盤、ニューヨーク市長が、同市は完全なロックダウンの可能性に備えるべきと述べたことを受けて下落する局面があったほか、共和党が新たな要求を提示したことにより追加経済対策協議が引き続き難航したものの、協議が合意に達することへの期待も維持され堅調に推移しました。

終盤にかけて、英国を中心に感染力が強いとされる新型コロナウイルス変異種の感染拡大に対する懸念が高まったものの、米国で追加経済対策・歳出法案が議会を通過したほか、英国と欧州連合（EU）が通商交渉で合意に達したことを受けて底堅く推移しました。

終盤、トランプ大統領が追加経済対策・歳出法案に署名し、法案が正式に成立したことを受けて景気回復に対する期待が高まったほか、連邦政府機関の一部閉鎖が回避されたことで安心感が広がり、S&P500 が過去最高値を更新するなど上昇しました。

### 12 月度の主要指数の概況

	終値	月間騰落率
ダウ・ジョーンズ工業株価平均（米ドル）	30606.48	+3.27%
S&P500（米ドル）	3756.07	+3.71%
ナスダック総合指数（米ドル）	12888.28	+5.65%

11 月の米小売売上高は、新型コロナウイルスの感染が拡大したことを受けて、衣料品や飲食店の売上が大きく減少し、前月比で-1.1%と予想以上に落ち込み、景気減速への警戒が高まっています。

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

### 欧州株式

欧州の株式市場は、上昇しました。

序盤、英国政府が、米ファイザーと独ビオンテックが共同開発した新型コロナウイルスのワクチンの使用を世界で初めて承認したことを受けて、英国の株式市場を中心に上昇しました。

中盤にかけて、新型コロナウイルスの感染拡大に対する懸念のほか、英国が合意なしに欧州連合（EU）を離脱するとの懸念が高まり下落しました。英国の株式市場は、英ポンドの下落が輸出関連株の支援材料となり、底堅く推移しました。

中盤、ユーロ圏の購買担当者景気指数（PMI）が市場予想を上回ったほか、欧州医薬品庁（EMA）が、新型コロナウイルスのワクチンの承認を決める会議を前倒ししたことを受けて上昇しました。

終盤にかけて、英国で感染力が強いとされる新型コロナウイルス変異種が確認され、感染拡大を防ぐためにロンドンなどで都市封鎖（ロックダウン）が導入されたほか、複数の国が英国からの渡航を禁止したことを受けて下落しました。その後、英国と欧州連合（EU）が通商協定で合意したことを受けて、合意なき英国の EU 離脱に対する懸念が後退し下落幅を縮小しました。

終盤、EU 主要国で新型コロナウイルスのワクチン接種が開始されたことを受けて上昇しました。その後、米当局が EU の一部製品の関税を引き上げると表明したことを受けて上昇幅を縮小しました。

### 12 月度の主要指数の概況

	終値	月間騰落率
独 DAX 指数（ユーロ）	13718.78	+3.22%
仏 CAC 指数（ユーロ）	5551.41	+0.60%
英 FT100 指数（英ポンド）	6460.52	+3.10%
スイス SMI 指数（スイスフラン）	10703.51	+2.17%
MSCI Europe 指数（ユーロ）	132.10	+2.29%

12 月のユーロ圏購買担当者景気指数（PMI）は、新型コロナウイルスの感染拡大による制限措置が再び導入されるなかでも、製造業が引き続き底堅く推移したほか、非製造業で持ち直しの兆しが見られ、総合指数は市場予想を上回りました。



セゾン投信

## 12 月度の市場動向について

### 日本株式

国内の株式市場は、上昇しました。

序盤、新型コロナウイルスのワクチン実用化への期待を背景に経済活動の正常化に対する期待が高まったほか、米国で追加経済対策協議に進展の兆しが見られたことを受けて上昇しました。

中盤にかけて、新型コロナウイルスの感染拡大に対する懸念を背景に下落する局面はあったものの、新型コロナウイルスのワクチンに対する期待の継続などがプラス要因となり、ほぼ横ばいとなりました。

中盤、政府が Go To トラベル事業を全国で一時的に停止すると決定したことを受けて下落する局面はあったものの、米追加経済対策や新型コロナウイルスのワクチンに対する期待が継続するなか、全国企業短期経済観測調査（日銀短観）で大企業・製造業の景況感が 2 期連続で改善したことなどを受けて上昇しました。

終盤にかけて、英国を中心に感染力が強いとされる新型コロナウイルス変異種の感染が広がり、世界的な感染拡大や都市封鎖（ロックダウン）による経済活動への悪影響が懸念されて下落しました。その後、英国と欧州連合（EU）が通商交渉で合意に達したことなどを受けて下落幅を縮小しました。

終盤、米国で追加経済対策・歳出法案が成立したことを受けて景気回復への期待が高まり、日経平均が 1990 年 8 月以来の高値に上昇したほか、TOPIX が年初来高値を更新するなど堅調に推移しました。

### 12 月度の主要指数の概況

	終値	月間騰落率
日経平均株価指数（円）	27444.17	+3.82%
TOPIX[東証株価指数]	1804.68	+2.84%
MSCI Japan 指数（円）	1105.57	+2.99%

10 月の機械受注は、設備投資の先行指標とされる船舶・電力を除く民需が 2 ヶ月ぶりに増加し、設備投資に対する需要に下げ止まりの兆しが見られます。

### 太平洋株式（日本を除く）

太平洋地域（日本を除く）の株式市場は、上昇しました。

序盤、新型コロナウイルスのワクチン実用化への期待を背景に経済活動の正常化に対する期待が高まったほか、オーストラリア準備銀行（中央銀行）のロウ総裁が、政策金利を長期間ゼロ近辺に維持すると改めて示唆したことを受けて上昇しました。

中盤にかけて、資源大手が生産見通しを引き下げたことなどを受けて鉄鉱石価格が上昇し、オーストラリアの株式市場を中心に上昇しました。

中盤、中国がオーストラリアからの石炭輸入を制限すると報じられたことなどがマイナス要因となったものの、新型コロナウイルスのワクチンにより経済活動が正常化するとの期待や、米追加経済対策への期待を背景に上昇しました。

終盤にかけて、オーストラリアで最大の人口を擁するニューサウスウェールズ州で新型コロナウイルスの感染者が増加したことを受けて下落しました。その後、同州での感染拡大が落ち着いたほか、英国と欧州連合（EU）が通商交渉で合意に達したことなどがプラス要因となり下落幅を縮小しました。

終盤、米国で追加経済対策・歳出法案が成立したことを受けて景気回復への期待が高まり底堅く推移しました。一方でオーストラリアの株式市場は、当局が新型コロナウイルスの感染拡大を抑制するためにより厳格な制限措置を導入するとの観測が広がったことを受けて小幅に下落しました。

### 12 月度の主要指数の概況

	終値	月間騰落率
MSCI Pacific ex-Japan 指数（米ドル）	1437.14	+5.21%
S&P/ASX200 指数（豪ドル）	6587.096	+1.06%
香港ハンセン指数（香港ドル）	27231.13	+3.38%
シンガポール ST 指数（シンガポールドル）	2843.81	+1.35%

7-9 月期の豪国内総生産（GDP）は、経済活動が再開されたことや政府による景気刺激策が打ち出されたことを受けて家計消費が増加し、前期比年率で 3.3% と市場予想を上回りプラス成長に転じたものの、前年比では-3.8%と引き続き前年を下回っています。

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

### 新興国株式

新興国の株式市場は、上昇しました。

序盤、米下院が同国の監査基準を順守しない中国企業の米国市場上場を廃止できる法案を可決したことを受けて、米国と中国の関係悪化に対する懸念が高まったものの、中国の堅調な製造業購買担当者景気指数（PMI）が示されたほか、新型コロナウイルスのワクチン実用化への期待を背景に経済活動の正常化に対する期待が高まり上昇しました。

中盤にかけて、米国政府が中国による香港立法会（議会に相当）の民主派議員の議員資格剥奪を巡り、中国・全国人民代表大会（全人代）の複数のメンバーに金融制裁を発動し、米国への渡航を禁止すると発表したことを受けて、米中関係の悪化に対する懸念が一段と高まり中国の株式市場は下落しました。一方、中国を除く新興国の株式市場は、新型コロナウイルスのワクチンに対する期待が継続するなかで底堅く推移しました。

中盤、中国の小売売上高や鉱工業生産が堅調な結果となったほか、中国人民銀行（中央銀行）が1年物中期貸出制度（MLF）を通じて過去最大となる9500億元を供給したと発表したことを受けて上昇しました。一方、米商務省が中国最大の半導体メーカー中芯国際集成电路製造（SMIC）を事実上の禁輸リストである「エンティティ・リスト」に追加し、米中関係の悪化に対する懸念は継続しました。

終盤にかけて、英国を中心に感染力が強いとされる新型コロナウイルス変異種の感染が広がったほか、米国政府が安全保障上の脅威とみなす通信機器を米国の通信ネットワークから排除するプログラムに19億ドルを拠出する見通しとなったことを受けて中国の株式市場を中心に下落しました。その後、英国と欧州連合（EU）が通商交渉で合意に達したことなどがプラス要因となり、下落幅を縮小しました。

終盤、米国で追加経済対策・歳出法案が成立したほか、中国と欧州連合（EU）がEU企業の中国市場への参入制限の緩和などを含む投資協定で合意したことを受けて景気回復への期待が高まり上昇しました。

### 12 月度の主要指数の概況

	終値	月間騰落率
MSCI Emerging 指数（米ドル）	1291.26	+7.15%
ブラジルボベスパ指数（ブラジルレアル）	119017.2	+9.30%
中国上海総合指数（中国元）	3473.069	+2.40%
韓国総合株価指数（韓国ウォン）	2873.47	+10.89%
台湾加権指数（台湾ドル）	14732.53	+7.36%
ロシア RTS 指数（米ドル）	1387.46	+8.23%
S&P/BSE SENSEX 指数（インドルピー）	47751.33	+8.16%
南アフリカ全株指数（南アフリカランド）	59408.68	+4.06%

中国では11月の鉱工業生産が8ヵ月連続で前年を上回ったほか、小売売上高も4ヵ月連続で前年を上回り、幅広い分野で中国経済が回復を続けていることが示されました。

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。



セゾン投信

## 12 月度の市場動向について

### 世界の債券市場についての概況

米国の債券市場は、下落しました（金利は上昇）。追加経済対策への期待を背景に株式市場が上昇するなど、リスク選好の姿勢が優勢となるなかで下落しました。ユーロ圏の債券市場は、ほぼ横ばいとなりました。ユーロ圏の堅調な購買担当者景気指数（PMI）などが下落要因となったものの、新型コロナウイルス変異種の感染拡大やそれに伴う都市封鎖の導入などが上昇要因となりました。日本の債券市場は、上昇しました（金利は低下）。日本国内での新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めがかからないなかで底堅く推移しました。

### 米国債券市場（国債）

米国の債券市場は、下落しました（金利は上昇）。

序盤、追加経済対策協議に進展の兆しが見られたことなどをを受けてリスク選好の姿勢が強まり、安全資産としての需要が後退したことを受けて下落しました。中盤にかけて、新型コロナウイルスの感染が一段と広がったことを受けて、さらなる行動制限措置が導入されるとの警戒が強まったほか、追加経済対策協議が難航したことを受けて上昇しました。中盤、株式市場が上昇したほか、連邦公開市場委員会（FOMC）で債券購入プログラムの変更がなかったことを受けて下落しました。終盤にかけて、追加経済対策・歳出法案が議会を通過したものの、英国を中心に感染力が強いとされる新型コロナウイルス変異種への懸念が高まり、それに伴う経済活動の制限への警戒が強まったことを受けて底堅く推移しました。終盤、トランプ大統領が追加経済対策・歳出法案に署名し、法案が正式に成立したことを受けて景気回復に対する期待が高まったものの、国債への需要は根強く底堅く推移しました。

### 12 月度の長期金利の状況

	利回り	前月比
米 10 年国債	0.913%付近	+0.074%

### 欧州債券市場（国債）

ユーロ圏の債券市場は、ほぼ横ばいとなりました。

序盤、新型コロナウイルスのワクチン実用化への期待を背景に経済活動の正常化に対する期待が高まったことを受けて下落しました。中盤にかけて、新型コロナウイルスの感染拡大に対する懸念のほか、英国が合意なしに欧州連合（EU）を離脱すると懸念が高まり上昇しました。欧州中央銀行（ECB）が追加金融緩和を決定したものの、事前の予想の範囲内だったことを受けて市場の反応は限定的でした。中盤、ユーロ圏の購買担当者景気指数（PMI）が市場予想を上回ったことを受けてリスク選好の姿勢が強まり下落しました。終盤にかけて、感染力が強いとされる新型コロナウイルス変異種の感染拡大を防ぐために英国が都市封鎖（ロックダウン）を導入したことなどを受けて上昇したものの、その後、英国と EU が通商交渉で合意に達したことを受けて、合意なき英国の EU 離脱に対する懸念が後退して反落しました。終盤、EU 主要国で新型コロナウイルスのワクチン接種が開始されたことが下落要因となったものの、英国政府が新型コロナウイルス変異種の感染拡大を抑制するために都市封鎖の対象地域を拡大したことを受けて上昇しました。

### 12 月度の長期金利の状況

	利回り	前月比
独 10 年国債	-0.569%付近	+0.002%

### 日本債券市場（国債）

日本の債券市場は、上昇しました（金利は低下）。

欧米の債券市場の下落や株式市場の上昇が下押し要因となったものの、国内での新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めがかからないなかで底堅く推移しました。

### 12 月度の長期金利の状況

	利回り	前月比
日 10 年国債	0.021%付近	-0.011%

当資料は受益者へ向けられた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

### 世界の為替市場についての概況

為替市場では、米追加経済対策への期待が継続して株式市場が上昇するなか、安全な通貨とされるドルへの需要が後退してドルは下落しました。ユーロは、ユーロ圏の購買担当者景気指数（PMI）が市場予想を上回ったことを受けて堅調に推移し、対ドルで上昇しました。

円は、新型コロナウイルスのワクチンや米追加経済対策への期待を背景にリスク選好の姿勢が強まるなかで軟調となりました。

### ドル・円

円はドルに対して上昇し、円高ドル安となりました。

序盤、新型コロナウイルスのワクチン実用化への期待を背景に経済活動の正常化に対する期待が高まったことを受けて円が下落したものの、米国で追加経済対策協議に進展の兆しが見られたことを受けてドルが円以上に下落し、円高ドル安の展開となりました。中盤にかけて、新型コロナウイルスの感染拡大に対する懸念が高まったほか、米追加経済対策協議が難航したことを受けてドルと円は共に底堅く推移し、円は対ドルでほぼ横ばいとなりました。中盤、米追加経済対策への期待が継続するなかでドルが下落し、円高ドル安の展開となりました。終盤にかけて、英国を中心に感染力が強いとされる新型コロナウイルス変異種の感染拡大に対する懸念が高まったものの、英国と欧州連合（EU）が通商交渉で合意に達したことなどを受けて円が軟調となり、円安ドル高の展開となりました。終盤、トランプ米国大統領が追加経済対策・歳出法案に署名し、法案が正式に成立したことで景気回復に対する期待が高まったほか、個人向け現金給付を 600 ドルから 2000 ドルへ引き上げる動きに対する期待を背景にドルが下落し、円高ドル安の展開となりました。

### ユーロ・円

円はユーロに対して下落し、円安ユーロ高となりました。

序盤、新型コロナウイルスのワクチン実用化への期待を背景に経済活動の正常化に対する期待が高まったことを受けて円が下落し、円安ユーロ高の展開となりました。中盤にかけて、新型コロナウイルスの感染拡大に対する懸念が高まったことを受けて円が底堅く推移したものの、欧州中央銀行（ECB）の追加金融緩和が事前の予想の範囲内だったことを受けてユーロも底堅く推移し、円は対ユーロでほぼ横ばいとなりました。中盤、ユーロ圏の購買担当者景気指数（PMI）が市場予想を上回ったことを受けてユーロが上昇したものの、円がドルに対して上昇した影響を受けて円は対ユーロで方向感を欠く展開となりました。終盤にかけて、英国と欧州連合（EU）が通商交渉で合意に達したことを受けて円が軟調となったものの、ユーロが対ポンドで下落したことを受けて円は対ユーロで方向感を欠く展開が継続しました。終盤、英国と EU の通商交渉合意がユーロの支援材料となったものの、ユーロが対ドルで 2018 年 4 月以来となる高値まで上昇した反動で反落し、円は対ユーロでほぼ横ばいとなりました。

### 12 月度の概況

	レート*	月間騰落率
円／ドル	103.25	-1.02%（円高）
円／ユーロ	126.18	+1.41%（円安）
ユーロ／ドル	1.2216	+2.42%（ユーロ高）

\*レートは月末の米国東部標準時間 17 時のものです。

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

## セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド 12 月度運用レポート

 販売用資料  
2021.1.6

「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」  
運用概況（2020 年 12 月 30 日現在）

### 今月のマーケットと投資スタンス

【株式市場】新型コロナウイルスのワクチン接種が開始されたことを受けて経済活動の正常化への期待が高まって上昇。

【債券市場】安全資産としての需要が低下したほか国債の発行拡大観測が高まったことを受けて米国を中心に軟調な展開。

【為替市場】リスク選好が強まるなかでドルが下落し、ユーロが上昇。円も軟調に推移し、対ドルで円高、対ユーロで円安。

【投資スタンス】今月は、株式市場が上昇したことを受けて、前半に株式・債券比率のリバランスを目的として株式ファンドの売却と債券ファンドの購入を行いました。また、積立などのご購入により、皆さまからお預かりした資金を利用して、定められた投資比率に従って、債券ファンドの購入を行いました。

### ファンドマネジャーからの一言

今月は、株式に投資するファンドが全て上昇し、基準価額の上昇要因となりました。為替は、対ドルで円高、対ユーロで円安となり、基準価額の上昇要因となりました。結果、当ファンドの基準価額は上昇しました。当ファンドでは引き続き、将来への予測に依存することなく幅広く投資を行うことでリスクを分散しながら、皆さまの長期的な資産形成に資することができるよう努めて参ります。

※変動要因については、右側の図 1、図 2 もご参照ください。

※ファンドの基準価額は原則として 2 営業日前の株式・債券市場の終値を反映しています。

運用部長 瀬下 哲雄

図1 12月度の投資先ファンド価格の変動による影響  
※月末の投資比率に基づく概算値/投資先ファンド通貨建て

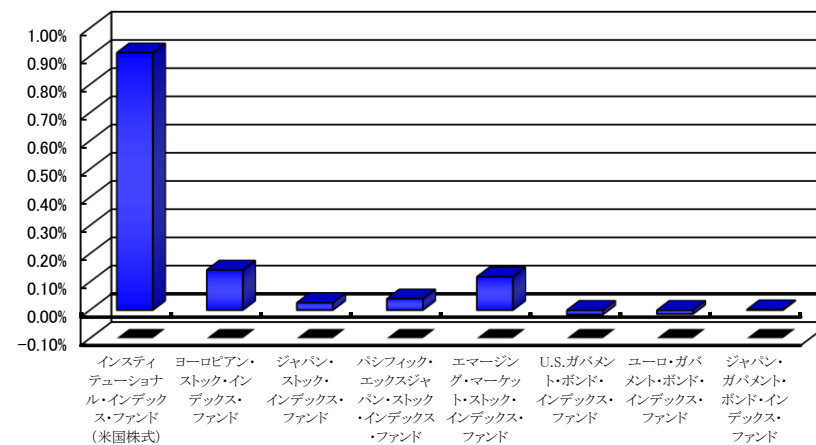
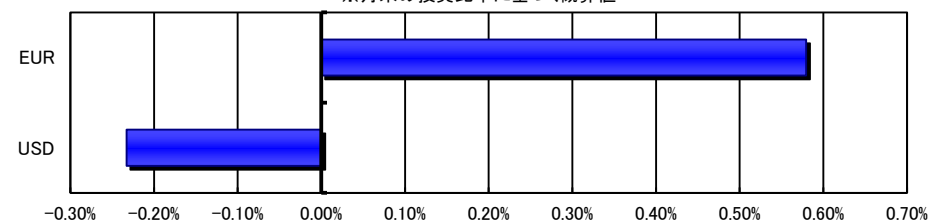


図2 12月度の為替変動による影響  
※月末の投資比率に基づく概算値



※上記の表は、投資家の皆様へファンド基準価額の変動要因を簡潔に説明するため2020年12月30日現在の投資比率に基づき、ファンド及び為替レートの変動の影響を図示したものであり、実際の影響度合いとは異なります。

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

## I：ファンドの基準価額と純資産総額の推移

2020 年 12 月 30 日現在の基準価額と純資産総額及び騰落率

基準価額	16,678円
純資産総額	2,325.3億円

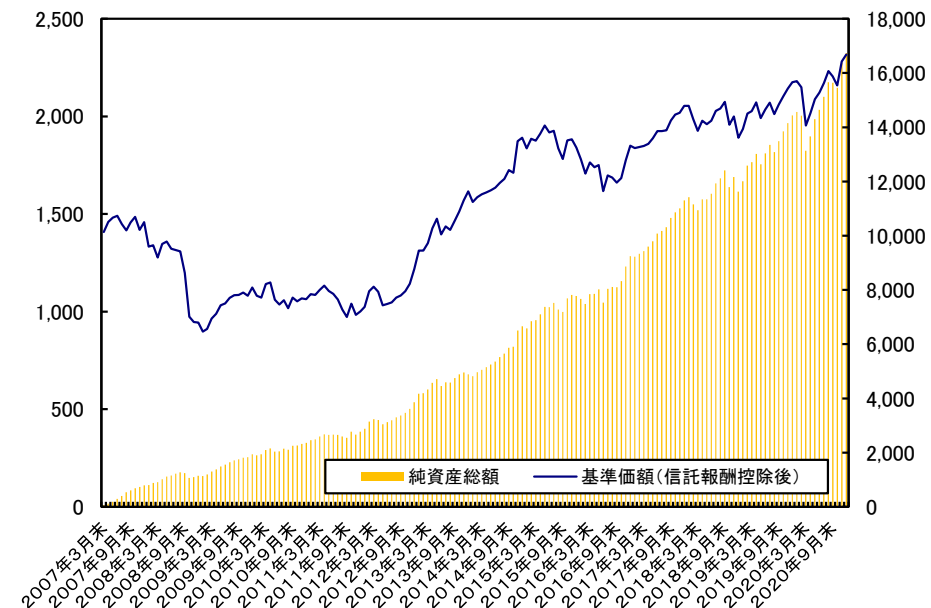
設定来騰落率	66.78%
過去1ヶ月間の騰落率	1.52%
過去6ヶ月間の騰落率	9.18%
過去1年間の騰落率	6.50%
過去3年間の騰落率	12.80%

\*基準価額は信託報酬控除後の数値です。騰落率は小数点第3位を四捨五入しています。

基準価額のハイライト（設定から 2020 年 12 月 30 日まで）

	基準価額	日付
設定来安値	6,275	2009年1月26日
設定来高値	16,678	2020年12月30日

純資産総額(億円) 基準価額と純資産総額の推移(設定来/月次) 基準価額(円)



当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。



## セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド 12月度運用レポート

販売用資料  
2021.1.6

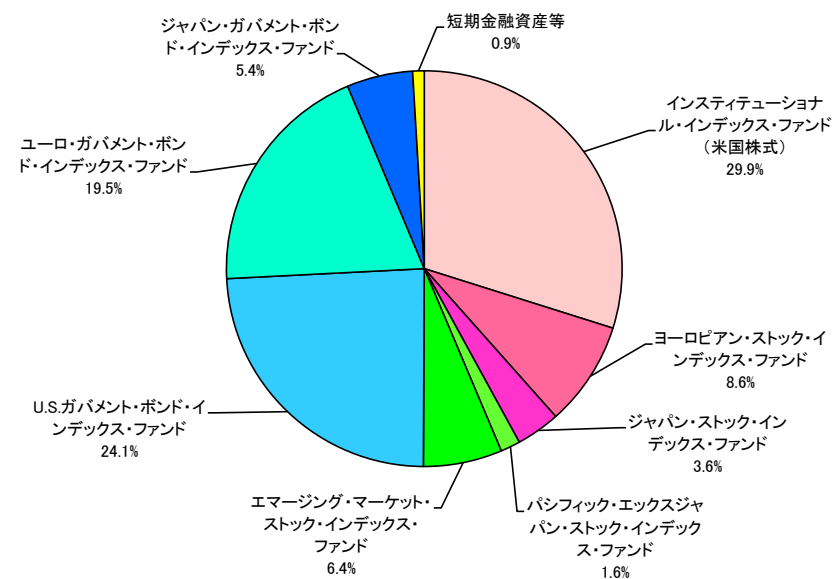
### Ⅱ：ファンド資産の状況（2020年12月30日現在）

#### 投資先ファンド別資産配分状況

ファンド名称	比率
インスティテューショナル・インデックス・ファンド（米国株式）	29.9%
ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド	8.6%
ジャパン・ストック・インデックス・ファンド	3.6%
パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド	1.6%
エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド	6.4%
U.S.ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	24.1%
ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	19.5%
ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	5.4%
短期金融資産等	0.9%
合計	100.0%

※資産配分状況は小数点第2位を四捨五入している為、合計が100%にならない場合があります。

資産配分状況（2020年12月30日現在）



当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

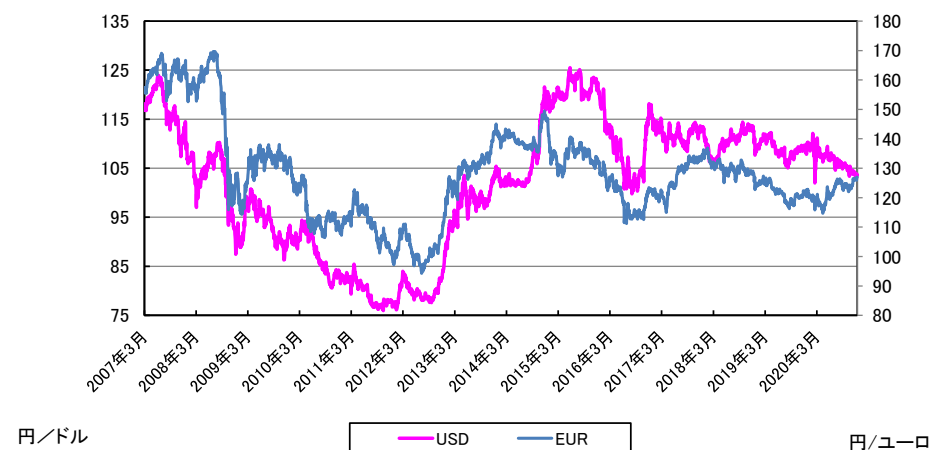
### Ⅲ：為替レートの推移

#### 設定時からの為替レート

日付	円／ドル	円／ユーロ
2007年3月15日	117.27	155.09
2007年12月28日	114.15	166.66
2008年12月30日	91.03	127.96
2009年12月30日	92.10	132.00
2010年12月30日	81.49	107.90
2011年12月30日	77.74	100.71
2012年12月28日	86.58	114.71
2013年12月30日	105.39	145.05
2014年12月30日	120.55	146.54
2015年12月30日	120.61	131.77
2016年12月30日	116.49	122.70
2017年12月29日	113.00	134.94
2018年12月28日	111.00	127.00
2019年12月30日	109.56	122.54
2020年1月31日	109.06	120.30
2020年2月28日	109.43	120.32
2020年3月31日	108.83	119.55
2020年4月30日	106.87	116.00
2020年5月29日	107.53	119.13
2020年6月30日	107.74	121.08
2020年7月31日	104.60	124.13
2020年8月31日	105.36	125.47
2020年9月30日	105.80	124.17
2020年10月30日	104.60	122.14
2020年11月30日	103.89	124.38
2020年12月30日	103.50	126.95
変化率（設定来）	-11.74%	-18.14%
変化率（12月度）	-0.38%	2.07%

※変化率はプラスが円安、マイナスが円高。小数点第3位を四捨五入

#### 2007年3月15日から2020年12月30日までの為替レートの推移



※投資信託協会発表の評価用為替レートを使用して作成しています。

当ファンドは、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

## セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド 12 月度運用レポート

販売用資料  
2021.1.6

### IV：投資先ファンドの価格（円貨建て）

#### ① 主に株式へ投資するファンドの値

ファンドへの組入れ開始日の値を 100 とした場合の 2020 年 12 月 30 日現在の値

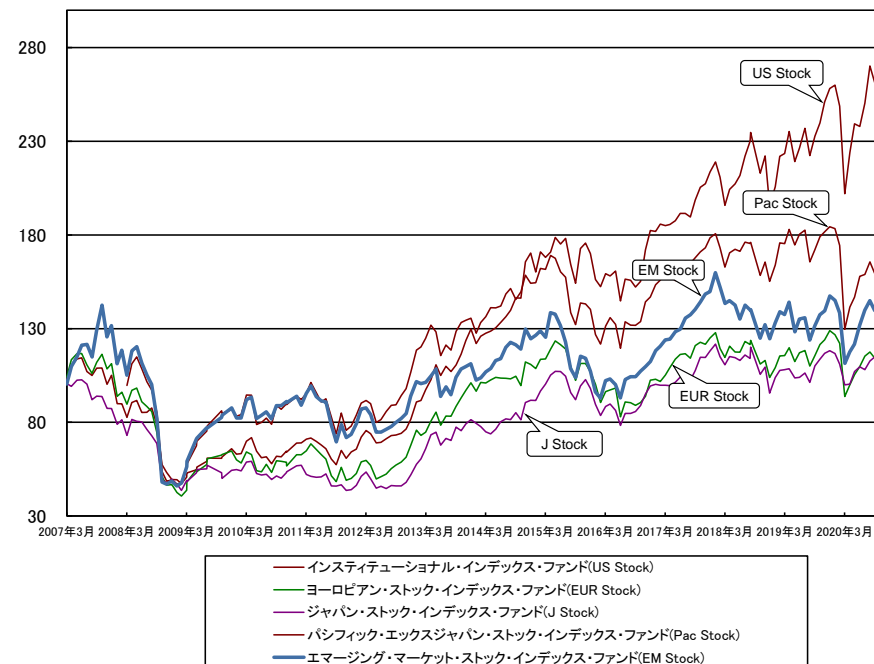
インスティテューショナル・インデックス・ファンド	285.9
ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド	128.4
ジャパン・ストック・インデックス・ファンド	126.4
パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド	184.6
エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド	159.9

2020 年 11 月 30 日の値を 100 とした場合の 2020 年 12 月 30 日現在の値（12 月の動き）

インスティテューショナル・インデックス・ファンド	102.7
ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド	103.8
ジャパン・ストック・インデックス・ファンド	100.7
パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド	102.1
エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド	101.5

※指数は小数点以下第 2 位を四捨五入

### 組入れ開始以来の投資先株式ファンドの値の推移（円貨建て）



エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド、ジャパン・ストック・インデックス・ファンドは 2007 年 3 月 23 日、パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンドは 2008 年 3 月 14 日、それ以外のファンドは 2007 年 3 月 19 日の値を 100 として算出しています。（インスティテューショナル・インデックス・ファンドの値は 2018 年 10 月 17 日までは U.S.500・ストック・インデックス・ファンドの値です。なお、インスティテューショナル・インデックス・ファンドの値は、税引き後の分配金を全て再投資したものととして算出しています。）価格が外貨建てのファンドは、投資信託協会発表の評価用為替レートを利用して円に換算し、指数を算出しています。（日付は全て当ファンドでの評価日付です。）

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

② 主に債券へ投資するファンドの値

ファンドへの組入れ開始日の値を 100 とした場合の 2020 年 12 月 30 日現在の値

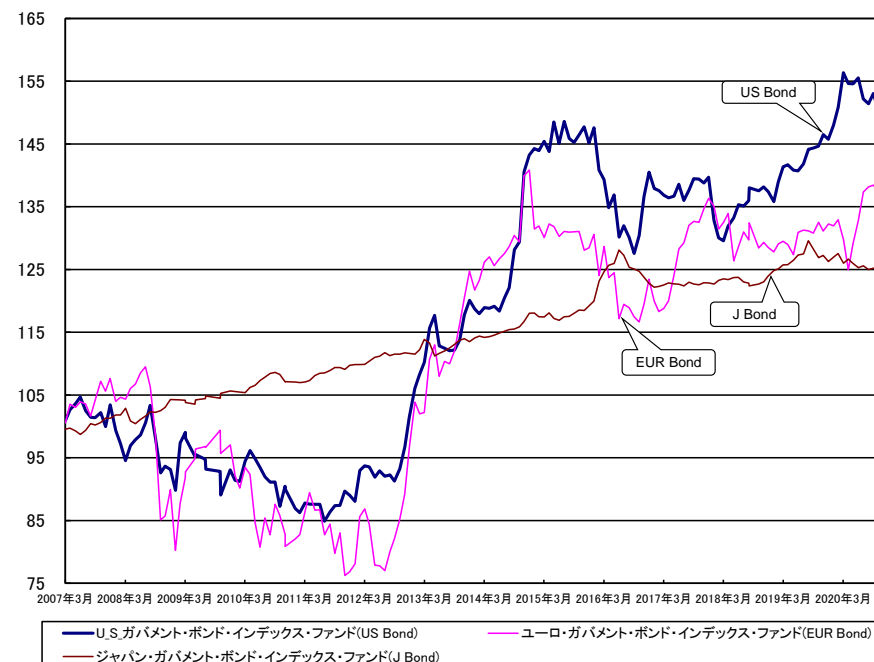
U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	148.1
ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	143.0
ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	125.4

2020 年 11 月 30 日の値を 100 とした場合の 2020 年 12 月 30 日現在の値（12 月の動き）

U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	99.6
ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	102.0
ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	100.0

※指数は小数点以下第 2 位を四捨五入

組入れ開始以来の投資先債券ファンドの値の推移（円貨建て）



ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンドは 2007 年 3 月 23 日、それ以外のファンドは 2007 年 3 月 19 日の値を 100 として算出しています。価格が外貨建てのファンドは、投資信託協会発表の評価用為替レートを利用して円に換算し、指数を算出しています。（日付は全て当ファンドでの評価日付です。）

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。



## セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド 12 月度運用レポート

### ■ファンドの特色

#### ① 幅広いリスク分散

世界 30 ヶ国以上の株式と 10 ヶ国以上の債券に分散投資。リスクを分散して安定的な成果が期待できます。

#### ② 低コスト

購入時手数料ゼロ。購入時に余分なコストのかからないノーロードファンドです。長期の資産形成に特化することで、運営にかかる経費も抑えています。

#### ③ バンガード・グループのファンドに投資するファンド・オブ・ファンズ

バンガード・グループは世界最大級の運用会社です。ローコスト・ハイクオリティで定評があり、投資家の利益を守るため、長期投資の重要性を訴え続けています。

#### ④ 長期投資の為のファンド

長期のパフォーマンスを最優先するため、分配金は全て再投資します。

### ■投資方針

① 株式と債券の投資比率は、原則として 50 : 50 とします。

② 各地域の株式及び債券の時価総額（規模）を勘案し、投資先ファンドへの投資配分を決定いたします。配分比率は適宜見直しを行っていきます。

③ 原則として、為替ヘッジは行いません。

※資金動向、市場動向ならびに信託財産の規模等によっては上記の運用が出来ないこともあります。

### ■組入れファンドについて

#### ①バンガード・U.S.500 株式・インデックス・ファンド

ファンドの目的：S&P500 インデックスに連動する運用成果を目指します。

#### ②バンガード・インスティテューショナル・インデックス・ファンド

ファンドの目的：S&P500 インデックスに連動する運用成果を目指します。

#### ③バンガード・ヨーロピアン・ストック・インデックス・ファンド

ファンドの目的：MSCI ヨーロッパ・インデックスに連動する運用成果を目指します。対象となる構成国はベルギー、デンマーク、フランス、フィンランド、ドイツ、イタリア、オランダ、スペイン、スウェーデン、スイス、英国等です。

#### ④バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド

ファンドの目的：MSCI ジャパン・インデックスに連動する運用成果を目指します。

#### ⑤バンガード・パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド

ファンドの目的：MSCI パシフィック・エクスジャパン・インデックスに連動する運用成果を目指します。対象となる構成国/地域は日本を除くアジア太平洋地域の先進国/地域（オーストラリア、香港、ニュージーランド、シンガポール）です。

#### ⑥バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド

ファンドの目的：MSCI エマージング・マーケット・インデックスに連動する運用成果を目指します。対象となる構成国は欧州・アジア・アフリカ・ラテンアメリカ地域の新興市場国およびロシアです。

#### ⑦バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド

ファンドの目的：ブルームバーグ・バークレイズ米国政府債浮動調整インデックス（米国債および米国政府機関債(米ドル建て・残存期間 1 年超)の時価総額加重インデックス) に連動する運用成果を目指します。

#### ⑧バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド

ファンドの目的：ブルームバーグ・バークレイズ・ユーロ政府債浮動調整インデックス（ユーロ圏各国の発行する国債および政府機関債（ユーロ建て・残存期間 1 年超）の時価総額加重インデックス）に連動する運用成果を目指します。

#### ⑨バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド

ファンドの目的：ブルームバーグ・バークレイズ日本政府債浮動調整インデックス（日本国政府および政府機関が発行する投資適格債券（円建て・残存期間 1 年超）の時価総額加重インデックス）に連動する運用成果を目指します。

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

## ■お申込みメモ

- 購入単位：販売会社が定める単位とします。
- 購入価額：購入申込受付日の翌々営業日の基準価額
- 換金単位：1口単位 ※販売会社により1円単位でのお申込みとなる場合があります。詳細は販売会社までお問い合わせください。
- 換金価額：換金申込受付日の翌々営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額
- 換金代金：原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目から販売会社において支払います。
- 購入・換金申込日：原則として、毎営業日に申込みを受付けます。ただし、ニューヨークの証券取引所休業日、ニューヨーク、アイルランドの銀行休業日のいずれかに該当する日には受付を行いません。
- 申込締切時間：原則として、午後3時までには受付けた申込み（当該申込みの受付に係る販売会社所定の事務手続きが完了したもの）を当日の申込みとします。
- 信託期間：無期限（設定日：2007年3月15日）
- 繰上償還：以下の場合には、法令および信託約款に定める手続きにしたがい、受託会社と合意のうえ、ファンドを償還することがあります。
  - ・受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合。
  - ・信託期間中において、ファンドを償還させることが受益者のために有利であると認めるとき、またはやむを得ない事情が発生したとき。
 このほか、監督官庁よりファンドの償還の命令を受けたとき、委託会社の登録の取消・解散・業務廃止のときは、原則としてファンドを償還させます。
- 決算日：毎年12月10日（休業日の場合は翌営業日）
- 収益分配：毎決算時（毎年12月10日の年1回。休業日の場合はその翌営業日。）に収益分配方針に基づき分配を行います。
  - ・委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。
  - ・当ファンドは、分配金再投資専用とします。収益分配金は、所得税、復興特別所得税および地方税を控除した後、再投資されます。
- 課税関係：課税上は、株式投資信託として取り扱われます。益金不算入制度、配当控除の適用はありません。公募株式投資信託は税法上、「NISA」（少額投資非課税制度）および「ジュニア NISA」（未成年者少額投資非課税制度）の適用対象です。当ファンドは「つみたて NISA」（非課税累積投資契約に係る少額投資非課税制度）の適用対象です。  
※詳細は投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。税法等が改正された場合には、上記内容が変更になる場合があります。

## ■当ファンドに係るリスクについて

### ◆基準価額の変動要因

当社の運用、販売するファンド（以下、当ファンド）はファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としております。一般に、株式の価格は、個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は、市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受けます。（「価格変動リスク」）また、当ファンドは、実質的に外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受けます。（「為替変動リスク」）その他の当ファンドにおける基準価額の変動要因としては、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。したがって、投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により投資元本を割り込むことがあります。運用による損益は、すべてお客さまに帰属します。当ファンドは預貯金とは異なり、投資元本が保証されているものではなく、一定の投資成果を保証するものではありません。

### ◆その他のご留意点

当ファンドは、預金や保険契約と異なり、預金保険機構、貯金保険機構、および保険契約者保護機構の保護対象ではありません。加えて証券会社を通じて購入していない場合には、投資者保護基金の対象となりません。投資信託の設定・運用は委託会社がおこないます。

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

## セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド 12 月度運用レポート

販売用資料  
2021.1.6

### ■当ファンドに係る費用について

投資者が直接的に負担する費用

- 購入時手数料：ありません。
- 信託財産留保額：換金申込受付日の翌々営業日の基準価額に 0.1% の率を乗じた額が控除されます。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

- 運用管理費用：ファンドの日々の純資産総額に年 0.506% (税抜 0.46%) の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的にお客様にご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年 0.57%±0.02%程度 (税込) となります。※ファンドが投資対象とする投資信託証券における信託報酬を加味した実質的な負担額の概算値です。各投資信託証券への投資比率、各投資信託証券の運用管理費用の料率の変更等により変動します。
- その他費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 (有価証券の売買の際に発生する手数料や、有価証券の保管に要する費用等を含む)、監査報酬 (消費税含む)、立替金の利息等が信託財産の中から差し引かれます。なお、当該その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に計算方法、上限額等を示すことができません。

ダウ・ジョーンズ工業株価平均、S&P500、S&P/ASX200 指数、S&P/BSE SENSEX インデックスは、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス (S&P DJI) の商品です。これらの指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、S&P DJI に帰属します。

S&P DJI は当指数等の情報に関し、その正確性・妥当性・完全性あるいは入手可能性を保証しません。また、S&P DJI は当指数等の情報の誤り、欠落についてその理由のいかんにかかわらず責任を負いません。また当指数等の使用による結果に対しても責任を負うものではありません。S&P DJI は当指数等の商品性あるいはその使用または特定の目的に対する適合性を含みますが、それに限定されるわけではなく、一切の明示的あるいは黙示的な保証を否認します。S&P DJI はファンドの受益者や他の人物等による当指数等の使用に関連したいかなる間接的、直接的な、特別なあるいは派生的な損害、費用、訴訟費用あるいは損失 (収入の損失、利益の損失、機会費用を含む) について一切の責任を負いません。

MSCI Index に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は MSCI に帰属します。また、MSCI は指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。

本文中のデータは、Bloomberg から取得しています。

「Vanguard」(日本語での「バンガード」を含む) 及び「tall ship logo」商標は、The Vanguard Group, Inc. が有し、セゾン投信株式会社及び承認された販売会社にのみ使用許諾されたものです。また「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」は、The Vanguard Group, Inc. 及び Vanguard Investments Japan Ltd より提供、保証又は販売されるものではなく、また投資に関する助言を受けていることを表すものでもありません。したがって、The Vanguard Group, Inc. 及び Vanguard Investments Japan Ltd は当ファンド・オプ・ファンズの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

委託会社：セゾン投信株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第 349 号  
 加入協会：一般社団法人 投資信託協会  
 お客さま窓口：03-3988-8668  
 営業時間 9：00～17：00 (土日祝日、年末年始を除く)  
<https://www.saison-am.co.jp/>

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書 (交付目論見書) の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。